

巻 頭 言

このたびは、第3回「人と環境にやさしい交通をめざす全国大会 in 横浜」を、横浜国立大学にて開催することができ、大変嬉しく思っております。あわせて、このようなすばらしい会議の開催にあたり、開催実行委員会、運営委員会、事務局の皆様の並々ならぬご尽力を賜ったことにも御礼申し上げます。

言うまでもなく、これからの日本の未来を考えるにあたり、人口減少下の超高齢化社会、地球規模での環境問題への対応は避けて通れない課題であり、人間生活の基本的な機能である「住む」、「働く」、「憩う」を結ぶ、交通という分野でも、それらの課題への対応が求められています。

サステナブル、持続可能という言葉は、1987年に国連の報告書で用いられて以来、かなりポピュラーな単語として市民権を得ていますが、そこには、環境面での持続可能性だけでなく、経済面そして社会面での持続可能性という意味も込めた理解が必要だと考えられます。経済的な効率性を無視することはできないし、財政的な安定性も無視できないし、社会的な公平性が蔑ろにされてもまずいということです。ESTすなわち環境的に持続可能な交通システムの議論をする際にも、それが本当に実現できるのか、財源負担も含めて社会に受け入れられるのか、バランスをとって考える必要があります。

こう考えてくると、我々が交通において考慮すべきは、単純に、LRTを導入する、コミュニティバスを走らせる、というところに留まっているのではなく、その先、すなわち、次の世代に引き継ぐことのできる、まち、都市、地域、国土のあり方を見据えた議論が期待されるものだと思います。

この論集に掲載されている多くの論文が、全国各地で、少しでも交通を良くして、次世代のまち、都市、地域、国土に貢献したいという熱い思いで活動されている方々、研究されている方々の、これまでの充実した活動成果をまとめたすばらしいものであると存じております。全国大会の当日に、発表の場において、これらの論文での成果について実りある議論が展開されることを心より期待申し上げます。

また第3回を迎えた、今回の全国大会では、これらの研究発表以外にも、討論、意見交換、そして草の根でがんばっていらっしゃる方々の間での交流の機会が数多く用意されています。このような場を活かしていただき、我が国の将来のために、交通が何をなすべきなのか、そして市民、行政、および関連する方々がどのように協働していくことが求められているのか、実りある議論が展開されることを切に願っています。

今回の全国大会が成功し、来年へ、そしてその先へと活動の灯火が引き継がれていくことをお祈り申し上げて、巻頭のご挨拶とさせていただきます。

横浜国立大学大学院工学研究院教授 中村文彦
（「人と環境にやさしい交通をめざす全国大会 in 横浜」運営委員会幹事長）

第3回横浜

目 次

○ 各分野の報告・提言

1. 交通政策への提言

101教室、座長：上岡直見、副座長：室田篤利

No	件 名	発 表 者	ページ	発表時刻
1	都市内交通における運賃政策に関する一考察	(財)運輸調査局 板谷和也	1	9:30 11:15 各15分 まとめ 15分
2	高校生による地方鉄道存続・活性化への模索 — 高校教育を通して地域公共交通を考える —	(N)環境市民 堀内重人	3	
3	道路計画における事業者の説明と合意形成に関する 問題点	環境自治体会議 環境政策研究所 上岡直見	5	
4	道路空間の有効活用策と費用便益分析 — 首都高をLRTと自転車道に	環境自治体会議 環境政策研究所 上岡直見	7	
5	日本におけるLRT導入の課題とPPP的取組みへの 提言	三井物産プラントシステム(株) 小山俊一	9	
6	端末交通サービス向上による交通行動変化	(株)三菱総合研究所 ○室田篤利、吉田浩二	11	
7	異なる公共交通手段の連携による利便性向上方策	LRTシステムアドバイザー 大野真一	13	11:30 13:00 各15分 まとめ 15分
8	満員電車がなくなる日	(株)ライトレール 阿部 等	15	
9	潜在的交通弱者という概念の提案	横浜の公共交通活性化をめざす会 横浜にLRTを走らせる会 柴田智洋	17	
10	地域公共交通の運賃引き下げが乗客数に与える影響	埼玉県 宮沢康則	19	
11	公共交通の赤字の意味と大切さ	千葉大学、岐阜未来研究団 堀 達哉	21	

2. 各地域の取組みから (1)

102教室、座長：えんどう和信、副座長：堀 達哉

No	件 名	発 表 者	ページ	発表時刻
1	全国の路面電車愛好支援団体の地域と路面電車への 思い	千葉大学 堀 達哉	23	9:30 11:15 各15分 まとめ 15分
2	岐阜地区新鉄道プロジェクトの概要	千葉大学、岐阜地区新鉄道設立準備室 堀 達哉	25	
3	運輸連合による地域公共交通の活性化とネットワー ク化 II	浜松都市環境フォーラム 内田宏康	27	
4	3次元VRシミュレーションを用いたLRTの再現 と市民意識に関する研究	宇都宮大学大学院 ○松茂良智佳、森本章倫 (株)オリエンタルコンサルタンツ 羅 霄 東電設計(株) 松村明子	29	
5	さいたま市基幹交通機関実現への取り組み活動	さいたま市の環境と公共交通システム研究会 村重嘉文	31	
6	都電荒川線を使ったサイクルパス実験	都電網研究会 ○藤村建一郎、坂本進吾	33	
7	再生3年目を迎えた和歌山電鐵貴志川線の現状と課 題	和歌山工業高等専門学校 伊藤 雅	35	11:30 13:00 各15分 まとめ 15分
8	地域公共交通活性化再生法と地方鉄道存続運動 —— 島原鉄道南線存続運動	東京大学大学院 宝田惇史	37	
9	まちづくりから、まち育みへ (from Scrap and Build to Smartgrowth)	A S I T A (北勢線とまち育みを考える会) ○成田正人、安藤たみよ	39	
10	豊島区におけるLRT等の動向	豊島区議会議員 小林俊史	41	
11	地方都市における公共交通の課題と提言	宇都宮市議会議員 えんどう和信	43	

3. 各地域の取組みから（2）

104教室、座長：佐藤 修、副座長：中村 正

No	件 名	発 表 者	ページ	発表時刻
1	川崎の交通とまちづくりを考える会の取組みについて	川崎の交通とまちづくりを考える会 野口浩史	45	9:30 11:00 各15分 まとめ 15分
2	バス停アダプト事業の提案	路面電車と都市の未来を考える会（RACDA） 岡 将男	47	
3	経済グローバル化時代の交通まちづくり	路面電車と都市の未来を考える会（RACDA） 岡 将男	49	
4	のんべい便利マップ	路面電車と都市の未来を考える会（RACDA） 岡 将男	51	
5	「『歩くまち・京都』総合交通戦略」の策定に向けて	京都市 木村 裕	53	
6	箱根スマイル2000万人プロジェクトについて ～箱根地域における交通社会実験の概要～	神奈川県 ○伊藤 博、小山真生 (株)日本能率協会総合研究所 久保田征志	55	11:30 13:00 各15分 まとめ 15分
7	固定観念を脱した地方路線バスの構想	地方私鉄 本山聡洋	57	
8	地方自治体とバス政策の現状 (コミュニティバス実施自治体の事例から)	法政大学大学院 塚本 敬	59	
9	天ぷら油のリサイクル燃料で自由が丘の街を走るエコバス	サンクスネイチャーバスを走らす会 ○島田孝克、栗山雅則	61	
10	人にも地域にも地球にもやさしい『環境交通のまち・あらかわ』の実現に向けて	荒川区「環境行動計画モデル事業」協議会 荒川区環境清掃部環境課	63	

4. 最新海外事情

105教室、座長：古川 洋、副座長：服部重敬

No	件 名	発 表 者	ページ	発表時刻
1	中国における路面電車・LRTの現況・計画について	持続可能社会研究会 都市交通を考える会 ○馬 良、佐藤 修	65	9:30 11:10 原則 各15分 まとめ 15分
2	上海キャパシタトロリーバスへの考察	(株)モチベート 森 五宏	67	
3	欧州における新型トロリーバスの現況	(株)三菱総合研究所 ○志村雄一郎、深山 剛 東京電力(株) 北村秀哉	69	
4	ヴァランシエンヌのLRTシステム その導入・インターモダリティ・都市計画	(株)アンジェロセック セバスチャン・アルノー	71	
5	コート・ダ・ジュール都市圏 ニースのLRT	(株)アンジェロセック ジャンピエール・ラガリュ	73	
6	欧州のコミュニティ・バイク計画の概要と事業展開について	共立女子大学 ○青木英明 アトリエUDI 望月真一 東京大学 大森宣暁	75	11:20 13:00 原則 各15分 まとめ 15分
7	LRTと公共空間 ～フランスの経験から～	(株)アンジェロセック ジャンピエール・ラガリュ	77	
8	地域連携の変遷と地域公共交通に関する法整備 ～フランスを参考として日本でのありかたを考える	(株)アンジェロセック 古川 洋	79	
9	ふたつのトランスロールが示すもの	都市交通研究家 服部重敬	81	
10	ゴムタイヤ式LRT「トランスロール」堺浜試験線の結果と日本仕様化	三井物産プラントシステム(株) 齊藤泰彦	83	

5. 環境・景観・交通まちづくり

106教室、座長：松橋啓介、副座長：竹内佑一

No	件 名	発 表 者	ページ	発表時刻
1	バスとLRT等を融合させる次世代の地域内交通 「複合交通システム」の提案	(財)鉄道総合技術研究所 前橋栄一	85	9:30 11:00 各15分 まとめ 15分
2	LRTデザインの分析と提案	sanodesign office 佐野 正	87	
3	バーコードリーダー及びGPS機能付携帯電話を使用したレンタサイクルシステムの提案	(株)ライトレール 杉野 仁	89	
4	新交通システムにおける街の景観を考慮した架線設計について	(株)関電工 酒井重嘉 (株)I.T.I 柏崎和久	91	
5	低炭素社会におけるLRTと地域のイメージ	国立環境研究所 ○松橋啓介、小林伸治	93	

6	知的マルチエージェント交通流シミュレータと金融工学を用いた岡山市におけるLRT延伸仮想社会実験の試み	東京大学 ○吉村 忍、桜井貴文、藤井秀樹、文屋信太郎	95	11:30 13:00 各15分 まとめ 15分
7	現状の公共交通機関のCO ₂ 削減の可能性と新たな公共機関の必要性	横浜国立大学 ○田中健太、馬奈木俊介 名古屋大学 中野牧子	97	
8	バックキャストイングからみたLRT導入によるCO ₂ 削減効果に関する研究	宇都宮大学大学院 ○中村直樹、森本章倫 (株)復建技術コンサルタント 丸山健太 東京電力(株) 中井秀信	99	
9	前クルマ時代のまち・クルマ全盛時代のまち・脱クルマ時代のまち	東京電力(株)技術開発研究所 青木 仁	101	
10	中心市街地における交通施策によるCO ₂ 削減効果の推計方法	(財)計量計画研究所 ○福本大輔、平見憲司、高橋勝美、竹内佑一	103	

6. 新たな技術を考える

107教室、座長：出町敦、副座長：伊原文明

No	件 名	発 表 者	ページ	発表時刻
1	電気バス・電気自動車を用いた通勤交通システムーデマンド運行と業務車のシェアリング利用ー	北陸電力(株)技術開発研究所 ○森野弘樹、元平 茂、松本安弘 北電情報システムサービス(株) 大島浩志	105	9:30 11:15 各15分 まとめ 15分
2	電気バスの開発ー実用化と普及に向けて	北陸電力(株)技術開発研究所 ○元平 茂、森野弘樹、松本安弘	107	
3	電車と電気自動車は相性が良い？	(株)三菱総合研究所 ○深山 剛、加藤 勲 東京急行電鉄(株) 太田雅文 日産自動車(株) 中島祐樹	109	
4	急曲線通過を可能とする自己操舵性独立回転車輪台車	東京大学 ○仁科 穰、須田義大 東京農工大学 道辻洋平	111	
5	電気二重層キャパシタの残存余命推定法	SEV 木下繁則	113	
6	架線レスLRV「Hi-tram (ハイ！トラム)」の概要と走行結果	(財)鉄道総合技術研究所 ○小笠正道、田口義晃、秦 広	115	11:30 13:00 各15分 まとめ 15分
7	電気二重層キャパシタを活用した自然エネルギーで動く鉄道(乗用模型)の制作	多摩美術大学 ○亀谷崇樹、勝間ひでとし 東京電機大学 鈴木源治	117	
8	電気で走る船、電動船舶の現状	大阪市立大学 南 繁行	119	
9	位置エネルギー利用の省エネ型都市交通システム「エコライド」の研究開発	泉陽興業(株) ○片岡輝義 泉陽機工(株) 金山泰雄	121	
10	HEV, EV用5V回生充放電試験システム	富士通テレコムネットワークス(株) ○横山専平、梶 芳久	123	
11	リチウムイオン電池による鉄道走行と課題	福井大学 ○荻原 隆 エナックス 小沢浩典、小沢和典 大研化学工業 山中重宣、大川 隆、愛清 仁	125	

7. カーシェアリング

201教室、座長：藤井 聡、副座長：太田裕之

No	件 名	発 表 者	ページ	発表時刻
1	交通計画としてのカーシェアリング普及政策について	東京工業大学大学院 ○藤井 聡、太田裕之	127	発表 9:30 11:30 各20分 全体討議 12:00 13:00
2	カーシェアリング事業の最新動向ー環境負荷の小さな地域づくりをめざしてー	オリックス自動車(株) 高山光正	129	
3	(株)マツダレンタカーのカーシェアリングについて	(株)マツダレンタカー 久保武史	131	
4	つくば市におけるカーシェアリング導入可能性に関する研究	筑波大学 ○高田智基、谷口綾子	133	
5	中央林間駅におけるカーシェアリング加入促進TFPプロジェクト報告	東京工業大学大学院 ○太田裕之、藤井 聡 (N)かながわ環境教育研究会 渡邊 敦 オリックス自動車(株) 高山光正	135	
6	地域に密着した総合的な「環境交通まちづくり」の取り組みと課題ーカーシェアリングの普及を中心にー	(N)かながわ環境教育研究会 ○渡邊 敦、鏑木孝昭 荒川区「環境行動計画モデル事業」協議会 高田忠則 荒川区 森泉勝也 オリックス自動車(株) 高山光正	137	

8. 横浜での取組み

202教室、座長：鏑木孝昭、副座長：清水康二・清水弘子

No	件 名		ページ	発表時刻
1	下和泉住宅のまちづくり 交通不便を地域の力で解決	下和泉住宅自治会 佐久間幹雄	139	9:30 11:15 各15分 まとめ 15分
2	誰もが安心して安全に外出するために ～福祉有償運送の現状と課題～	(N)かながわ福祉移動サービスネットワーク 河崎民子	141	
3	横浜都心部における交通の現状と課題	横浜の公共交通活性化をめざす会 小田部明人	143	
4	港北南部コミュニティバス実現をめざす市民の会 (略称コミバス市民の会) による3日間の試運行の 実践報告と課題	コミバス市民の会 茂呂秀宏	145	
5	「横浜カーフリーデー2008&モビリティウィーク」 について	横浜カーフリーデー実行委員会 中村利恵	147	
6	横浜の地域交通政策の経緯と現状	横浜市議会議員 串田久子	149	11:30 12:45 各15分 まとめ 15分
7	公共交通機関の利用促進について	横浜市 山田耕作	151	
8	横浜にLRTを走らせる会の活動	横浜にLRTを走らせる会 ○竹田順一、清水康二	153	
9	「経済特区申請と運用」による環境型新都市モデル の提言	ベロタクシーヨコハマ ((N)ベイウインド環境ヨコハマ推進協会) 平松博模	155	

○ 人と環境にやさしい交通をめざす各地の動き

全体まとめ（宇都宮浄人）	157
宇都宮市（宮沢康則）	161
高松市（大野寛之）	163
浜松市（阿部 等）	165
福井市（佐藤 修）	167
四日市市（服部重敬）	169

○ LRT&BRTデザインコンテスト

作品審査を終えて（井上晃良）	171
A部門（グランプリ1点、優秀賞3点）	172
B部門（グランプリ1点、優秀賞3点）	174
C部門（グランプリ1点、優秀賞3点）	177

○ 付 録

カーフリーデー（交通新聞10月6日「交通評論」より転載）	186
LRT推進議員連盟名簿	187
地域公共交通の活性化及び再生に関する法律	ウラから 1
地域公共交通の活性化及び再生の促進に関する基本方針	ウラから 17